

葛塚市（葛塚五・十の市）



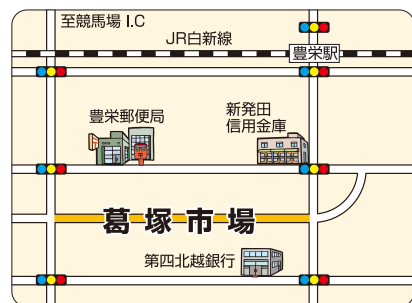
260年以上の歴史ある市場によりなせや！

毎月1・5・10・15・20・25日に開かれる葛塚市は、60店近い露店が並び街を賑わせます。目玉の商品は、安くて新鮮な魚介類、旬の野菜や果物、手作りのコンニャク・キムチなどなど。生花、野菜や花の種子、植木や衣料品も充実した庶民の強い味方となっています。

■葛塚市と開市神社

葛塚市は、1761（宝暦11）年、幕府の許可により開設されて以来、約260年の長い歴史を持つ市場です。市場を開くために尽力したのが、葛塚の庄屋遠藤七郎左衛門宗寿です。

市場を開き、用水の確保に力を尽くし葛塚の発展に大きな役割を果たした宗寿を、1863（文久3）年にまつたのが開市神社のはじまりです。開市神社は村政に尽くした七郎左衛門国忠、幕末に北辰隊隊長として活躍した七郎昭忠もまつられていて、遠藤家の3人が祭神となっています。



300mの区間に約60店が店を出します。

●豊栄とまと

北区は県内一のトマト産地で、特に豊栄地区で生産される新鮮な大玉トマトは、甘さと酸度のバランスが絶妙で、おいしいと評判です。



●木崎やきなす・丸なす

北区は県内有数のなすの産地です。特に木崎やきなすは門外不出のジャンボサイズで大きいものは30cm以上に達し、ジューシーで甘いなすとして高い評価を受けています。



松浜市（松浜二・七の市）



地元に愛され140年以上！

毎月2・7・12・17・22・27日に開かれる松浜市場は、松浜本町の新屋敷通の約400メートルに60店近い露店が並びます。食料品から日用品まで品揃えも豊富で、濁川や豊栄で採れた新鮮な地場野菜や、近くの松浜漁港で獲れた鮮魚・海産物が多いのが特徴です。

- 場 所 バス停「本町2丁目」から徒歩1分
阿賀野川の堤防すぐそば
- 開 催 日 毎月2・7・12・17・22・27日
※1月2日は休み
- 臨時開催日 晦日市（12月30日）
- 開催時間 午前7時30分～正午（雨天でも開催）

●シジミ

阿賀野川のシジミはその多くが「ヤマトシジミ」といわれるもので、淡水と海水が混ざるところで良質なシジミが育ちます。8月頃に旬を迎え、特に大粒のものが漁獲されます。



●鮭

阿賀野川の鮭は10月中旬から11月いっぱい旬。脂ののりがよく、少し黄色みがかった銀鮭は身もやわらかく美味。「チャンチャラ焼き」が松浜名物として親しまれています。



400mの区間に約60店が店を出します。